



Title	WHOニュース 2月/3月/4月
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2021, 77, p. 24-29
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86475
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



必須診断薬リストを改訂、各国に検査薬の優先投資を促す

WHOは2018年から、すべての国の医療拠点や検査室向けに推奨される体外診断薬の必須診断薬リスト (EDL) を毎年公表しており、本日、最新版が発行されました。

子どもの慢性疼痛管理に関する新しいガイドライン

この新しいWHOガイドラインでは、0～19歳の子どもの疼痛緩和のために、身体的、心理的、薬理学的治療が推奨されています。

動画による歯科口腔医療におけるCOVID-19感染症の予防方法

3本の短編アニメーション・ビデオは、口腔保健医療を求める人々のスクリーニング、トリアージ、受付に関するWHO推奨の手順、スタッフ保護、適用すべき洗浄、消毒、滅菌の手順を説明しています。

マラリアのグローバル戦略更新

1月28日に行われたWHOのバーチャルフォーラムで「マラリアのための世界技術戦略2016 - 2030」に関するフィードバックや見解を共有しました。

医療と健康の統計の一層の整備を

現在、世界の死亡の10分の4が未登録であり、アフリカ地域では10分の1の死亡しか記録されていません。SCOREを用い

て、WHOは世界各国がデータのギャップに対処し、データと健康情報システムを強化できるよう支援していきます。

AIソーシャルリスニングツールの試験運用を開始

インフォデミックへの対応としてWHOが構築したEARSと呼ばれるプラットフォームにより、パブリック・オンライン・フォーラムで起こっている発言のリアルタイム分析を見ることができます。

インフォデミック管理研究の焦点

WHOのオンラインコンサルテーションでは、COVID-19に関する偽・誤情報の氾濫による社会の混乱 (インフォデミック) を管理する枠組みが作成されました。

COVAX: ワクチン供給の第一回中間予測を発表

Gavi及びWHOなどは、COVID-19ワクチンへの世界規模での平等な供給を目指し、主要供給パートナーであるユニセフと共に、第一回中間予測を発表しました。

部位別患者数で乳がんがトップに

今年の世界対がんデー (2月4日) のスローガンは『I can and I will』です。国際がん研究機関 (IARC) が2020年12月に発表した統計によると、乳がんが最も多く診断されており、肺がんを抜きました。

医療従事者のためのCOVID-19リハビリトレーニングコース

COVID-19患者の臨床管理のあらゆるケースを取り上げた臨床管理コースシリーズの第6コースは、COVID-19患者のリハビリテーションに焦点を当てています。

Health for All 映像フェスティバル

WHOのHealth for All Film Festivalへの2回目のエントリー募集は、110か国から1175件の応募がありました。5月にカテゴリー 別に大賞が授与される予定です。

医療従事者に報いる投資を - 2021国際医療従事者年

パンデミックとの闘いにおける献身に感謝の意を表して、2021年が国際医療従事者年 (the International Year of Health and Care Workers) に指定されています。WHOは、「Protect.Invest.Together」をテーマにキャンペーンを展開しています。

ILO: 健康と幸福のグローバルアクションプランに参加

ILO (国際労働機関) は、健康な生活と幸福の持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた進展を加速させるためのグローバルアクションプラン (SDG3GAP) に参加します。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



保健分野における国家適合計画の品質基準

気候変動が人間の健康と健康システムに影響を与えることに対し、「WHO Quality Criteria for Health National Adaptation Plans (HNAPs)」は、政策立案者や保健省庁に、保健分野における適合計画のための実施と品質のための基準を提供しています。

COVID-19ワクチンレース：全員が勝者か敗者か

これまでに投与された1億2800万回のワクチン接種のうち、4分の3以上が、わずか10か国で行われています。現時点で、25億人を含むほぼ130か国が、まだ単回投与すら行っていません。

小児がん対策の新しいツール

2月15日は国際小児がんデーです。WHOは、各国が小児がんの診断と治療を改善するのに役立つ一連のツールを発表しました。

アストラゼネカのワクチンを緊急使用リストに追加

WHOはアストラゼネカ / オックスフォードCOVID-19ワクチンを緊急使用のリストに加えると発表し、COVAXを通じた同ワクチンの世界展開へのゴーサインを出しました。

結核と薬剤耐性診断の新しい分子アッセイ

結核患者の3分の1、薬剤耐性結核患者の半数以上が、質の高い診断とケアを受けていません。ガイドライン開発グループでは2020年12月に結核と薬剤耐性結核の診断に使用される分子アッセイに関するWHOの方針を更新しました。

飲み水と熱帯病に関するグローバル戦略(草案)

1月28日に発表されたNTD(顧みられない熱帯病)工程表2021-2030では、「2030年までにNTDsの常在地域で少なくとも基本的な水の供給、下水設備、衛生環境を達成する」という横断的な目標が含まれ、関係者との連携強化が求めています。

マラリア対策の統合ガイドライン

マラリアに関するWHOの最新の推奨事項を、利用者にとって操作が簡単で分かりやすいようにオンライン上にまとめたもの(MAGICapp)です。

紙からデジタルへ『SMARTガイドライン』

SMARTガイドラインは、妊産婦ケアをはじめとするWHOの健康とデータの推奨事項を各加盟国のデジタルシステム上で普及させる画期的な取り組みです。

ヘルスプロモーション・スクールの世界基準と実施ガイダンス

WHOとユネスコは、新たなイニシアチブ「Making Every School a Health Promoting School(すべての学校は健康を促進する場に)」を立ち上げました。

インフォデミックに関する最初の論文発表

WHOと関係機関はインフォデミックに関して5つの学術誌と共同で論文募集を行いました。今週、「Health Security」誌にインフォデミック特集が掲載されました。

WHO:低中所得国対象にワクチン無過失賠償

WHOとChubb社は、Gavi COVAX Advance Market Commitment (AMC)を通じたワクチン供給の支援対象となる中低所得国・経済92カ国・地域の無過失賠償に関する合意書に署名しました。

G7:ワクチン供給強化に43億ドル拠出

世界中が安全になれば安全な国はないことを認識し、ACTアクセラレータ・パートナーシップへの米国、ドイツ、欧州委員会、日本、カナダからの43億ドル以上の拠出を歓迎しました。

2月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。 <https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・ラドンと健康、

・コレラ、

・筋骨格系の症状、

・子どものがん

3月

March

COVAXのワクチン、第1陣がガーナに到着

COVAXを通じた低・中所得国への新型コロナワクチン第1陣がガーナに到着しました。

低中所得国でCOVID-19患者の医療用酸素が不足

毎日50万人以上のCOVID-19患者が酸素吸入を必要としていると推定され、9000万米ドルの緊急資金が必要とされています。

西太平洋地域における薬剤耐性の監視・医療システムレビュー

薬剤耐性(AMR)は、WHO西太平洋地域事務局(WPRO)が非常に懸念している公衆衛生上の脅威です。AMRの封じ込めに関する詳細な状況分析と技術的議論を行いました。

世界聴覚報告書：2050年までに4人に1人が聴覚障がい

2050年までに世界で約25億人(4人に1人)が難聴を抱えて生活し、少なくとも7億人はケアおよびリハビリテーションを利用しなければならなくなると予測しています。

Covid-19を予防する薬剤

このWHO生活ガイドラインには、ヒドロキシクロロキンを「使わないように強く勧める」という勧告が含まれています。

認知症患者および介護者サポ

ートのハンドブック

BeHe@lthy BeMobileなどは、モバイル技術を活用し、認知症発症リスクのある人々に健康情報を提供し、介護者を支援する「mDementiaプログラム」を開発しました。

世界保健デー：世界をもっと公平に、そして健康的に

4月7日は世界保健デーです。WHOは、すべての人が、どこにいても、健康になる権利を実現できるようにする責任を負っています。

WPRO：健康的な高齢化社会実現のための地域行動計画

WHO西太平洋地域委員会で承認された地域行動計画は、高齢者の健康と福祉を向上させ、高齢者が生き生きとして社会に貢献できるよう5つの目標を掲げています。

COVAX：最初のワクチン分配計画を発表

WHOは、「COVAX」によって、5月末までに英アストラゼネカ製ワクチン2億3700万回分を142カ国に分配すると発表しました。

狂犬病撲滅に向けて報告書

United Against Rabies Forumは、2030年までに狂犬病による死亡をなくすという世界戦略計画の目標達成に向けて最初の報告書を発表しました。

世界乳がんイニシアチブ発表

WHOは、2040年までに世界の乳がん死亡者数を年率2.5%で削減し、250万人の死亡を回避することを目的とした、『世界乳がんイニシアチブ』を発表しました。

放射線治療装置に関するガイドダンス

WHOとIAEAによる放射線治療機器の調達に関する新たなガイドダンスは、世界の多くの地域で未だに不足しているがん治療の選択肢の普及を広げます。

リンパ系フィラリア症に関する文書の更新

72カ国で数千万人の人々が罹患しているリンパ系フィラリア症に苦しむ人々に質の高いケアを提供するために、プログラム管理者向けの文書を更新しました。

ロタウイルスワクチン価格が人道的危機向けに

国境なき医師団、セーブ・ザ・チルドレン、ユニセフ、WHOは、製造元のGSKと画期的な価格合意に達し、人道的危機にある多くの子供たちにロタウイルスワクチンを提供できるようになったことを歓迎しました。

女性の3人に1人が暴力被害

約7億3600万人の女性が人生のどこかの時期に、性的暴力を受けています。この数字は過去10年間でほとんど変化していません。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



WHO: Women in Global Healthと覚書を締結

世界の医療・介護従事者の約70%は女性です。「北京+25」および「国際医療・介護従事者年」に向けて、WHOとWomen in Global Healthが覚書を交わしました。

ACTアクセラレータ：戦略と予算の見直し

ACTアクセラレータは、3つの大きな変化（ワクチン供給の制約、変異株の出現、不十分な投資）により、優先事項、資金要件、投資ケースを見直す必要が出てきました。

ジョンソン&ジョンソンのワクチンを緊急使用リストに追加

WHOは、COVID-19ワクチンAd26.COV2.Sを、緊急使用リストに追加しました。

Covid-19感染の母親から新生児を離さないで

WHOはCOVID-19感染の場合でも、母親は赤ちゃんと同室で、授乳やスキンシップを続けるべきであり、適切な感染予防策の支援が必要であると助言しています。

HIV予防・治療・ケアの改訂ガイドライン

生後18カ月未満の小児における検査、HIVとともに生きる人々の治療のための検査、治療モニタリングについて、新設および最新の推奨事項を示しています。

エイジズム(年齢差別)に関するグローバルレポート

WHO、国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)などは、エイジズム(年齢差別)に関する報告書を発表しました。

SDGs時代の子どもと青少年の健康の再構築

5歳未満の子どもたちの死亡は高止まりしており、一部の国では、交通事故、対人暴力、などにより、年長の青年(15～19歳)の死亡率が増加しています。

アストラゼネカ製ワクチンの安全性に関する声明

WHOの諮問委員会は、アストラゼネカ製のCovid-19ワクチン接種後の血栓発症例の臨床データを検証し、現時点で接種のメリットがリスクを上回ると結論しました。

時速30km道路を都市の標準に

第6回国連世界交通安全週間では、人々が歩き、生活し、遊ぶ場所では時速30kmの低速道路を政策立案者に呼びかけています。

顧みられない熱帯病と闘う世界戦略 2021-2030

3月22日は世界水の日です。WHOは、WASH(飲み水と衛生)とNTD(顧みられない熱帯病)の分野が共同で取り組む、水と衛生に関する戦略を発表しました。

ケアの質に関するWHOテクニカルパッケージ

WHOは、脆弱な環境や紛争地域などにおけるケアの質に取り組む行動を呼びかけ、テクニカルパッケージを発表しました。

抗菌薬耐性(AMR)に関する進捗報告2019-2020

食糧農業機関(FAO)、国際獣疫事務局(OIE)、WHOの三者が実施しているAMR国別自己評価調査(TrACSS)では、すべての分野におけるAMRへの対応に向けた世界の動向と行動を検証しています。

Z世代とミレニアル世代のデジタル意識調査

この世代の若者がCOVID-19の情報をどこで求め、情報源として誰を信頼し、偽情報をめぐる意識と行動、懸念事項は何か、といった重要な洞察を提供しています。

3月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。 <https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・エボラウイルス症、
- ・高齡化と健康に関する10の事実、
- ・緊急時のメンタルヘルス、
- ・シャーガス病、
- ・フランベジア、
- ・ブルーリ潰瘍、難聴と聴覚障がい、
- ・失明と視力障がい、
- ・ハンセン病、
- ・鉛中毒と健康、
- ・統合失調症、
- ・条虫症・囊虫症、
- ・がん、
- ・女性に対する暴力、
- ・HTLV-1ウイルス、
- ・傷害と暴力

4 月

April

国際パンデミック条約に向け 異例の共同声明

25カ国の政府・国際機関の代表者が会し、将来の世代を守るために、パンデミックに対する新たな国際条約に向けて協力すべきと異例の共同声明を発表しました。

COVID-19ウイルスの起源に 関するWHO調査報告書

中国武漢における国際共同調査チームによる報告書が発表されました。

ポストコロナを見据えたワー キンググループの設置

WHOとIUCN(国際自然保護連合)は、「生物多様性、気候、ワン・ヘルス」に関するワーキンググループ(EWG)を新たに設置します。

高齢者のためのメンタルヘル スツールキット : Living with the Times

COVID-19のパンデミックの状況下で、高齢者が健康を維持し、同時に周囲の人々をサポートするための重要なメッセージがイラスト入りで掲載されています。

世界保健デー : より公平で、より 健康な世界の構築を各国に要請

WHOは、4月7日の世界保健デーに際し、すべての人の健康を改善するための緊急

行動を求める5つの呼びかけを行います。

COVAX、100 カ国以上にワク チン供給

COVAX ファシリティは、4月8日までに100以上の国と地域にワクチンを届けています。2021年前半に、ワクチンを希望するすべての国にワクチンを供給することを目指しています。

世界保健デー : 今こそすべての 人、すべての国で公平で、健 康な世界を創る時~

私たちは、これまで以上に健康の公平性に真剣に取り組み、健康格差を生む社会的・経済的要因に正面から向き合うことで、公平で健康的な世界を構築することを約束します。

喫煙は毎年1.4兆ドルの損失

世界中でたばこの使用により発生している1.4兆ドル以上の医療費と生産性の損失をたばこ税により削減する方法を各国に紹介しています。

食品市場での野生動物の販売 に伴う公衆衛生上のリスク

WHO、OIE、UNEPは、緊急措置として、生きた哺乳類野生動物の取引を停止し、食品市場の該当部門を閉鎖することを呼びかけています。

HIV医療サービスの継続メリ ットはCOVID-19の感染リス クを上回る

一部の国ではHIVサービスのうち、75%もが中断されています。数学的モデリングにより、HIVサービスを継続することの利点は、COVID-19の追加死亡のリスクをはるかに上回ることが示されました。

お金という価値から医療サー ビスという価値への転換

医療システムが生み出す価値とは何か？ WHOは、3つの手段(医療給付パッケージの設定、戦略的購買、人々を中心とした統合医療サービス)を通じて、いかに健康の価値を位置づけるか、を明確にしています。

抗菌薬耐性 : 水・衛生・トイ レの新たな問題

このノートでは、WASHと抗菌薬耐性の概要を説明し、リスク評価管理、政策、研究の新しい方向性を提案しています。

革新的な抗生物質開発の停滞 と薬剤耐性

薬剤耐性の脅威に対する認識が高まっているにもかかわらず、現在臨床開発中の43種類の抗生物質の中に、世界で最も危険な細菌の薬剤耐性に十分に対抗できるものがないことを明らかにしました。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



グローバルハンセン病戦略 2021 - 2030

世界ハンセン病戦略2021 - 2030
「Towards zero leprosy」が策定されました。

COVID-19と闘う若者のアイ デアに資金を支援

世界の6大青少年団体が主導し、WHOと
国連財団が支援する『Global Youth
Mobilization』は、COVID-19に対する革
新的な若者の活動に資金を提供します。

結核における薬剤耐性監視の ためのガイダンス (第6版)

サーベイランスのための標準化された基
準を推進し、国内および国外の結果を長
期的に比較できるようにしています。

子どもたちの障害をグローバ ルヘルスの課題に

障がいを持つ子どもたちは、医療機関から
サービスを受けることを拒否され続けます。

第7回国際保健規則緊急委員会

第7回緊急委員会が開催され、緊急事態
(PHEIC) の継続を決定し、ワクチンの公
平な分配、ワクチン接種証明を入国条件
としない、ワンヘルスへの取組みなどが

暫定勧告として示されました。

フランコフォニー国際機関 (IOF) とUHC推進等で覚書締結

WHOは、IOFとCOVID-19ワクチンの公
平性、マラリア対策、UHCの推進、WHO
アカデミーの開発に関する協力などに関
する覚書を締結しました。

糖尿病対策を加速するWHO グローバル・コンパクト

インスリンが発見されてから100年、新
たな「世界糖尿病コンパクト」は、糖尿病
を予防し、すべての人々に治療を提供す
るための取り組みを加速させます。

世界マラリアデー：2025年 までにさらに25 カ国でマラ リア根絶へ

4月25日は世界マラリアデーです。2025
年までにさらに25カ国以上でマラリアの
感染を阻止することを発表しました。

ACTアクセラレータ、発足1年

設立1周年を迎え、ACT-アクセラレータ
はその進捗状況に関する特別報告書“ACT
Now, ACT Together: 2021 Impact
Report”を発表しました。

COVID-19：必要不可欠な保 健サービスが未だ混乱

「パルスサーベイ」の第2回目の調査によ
ると、COVID-19パンデミックから1年以上
が経過しても、混乱が続いており、約
90%の国が依然として基本的な保健サー
ビスに1つ以上の障害が発生しています。

予防接種週間：何百万人もの 子どもたちを救うワクチン接 種が中断

4月24-30日は世界予防接種週間です。
WHO、ユニセフ、Gavi (ワクチン・アライ
アンス) は、予防接種サービスが
COVID-19による混乱から回復しつつあ
る一方で、何百万人もの子どもたちが依
然として致死率の高い病気にさらされて
いることを警告しました。

マラリア対策の世界的実践者 John Storeyの死を悼む

マラリア対策の世界的権威であり、マラ
リア顕微鏡検査の第一人者であった元
WHO職員のジョン・ストーリー氏の死を、
マラリア対策の関係者は悼んでいます。

4月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。 <https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------|
| ・乳がん | ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ | ・マラリア、 |
| ・プライマリヘルスケア | ・子宮内膜症、 | ・難聴と聴覚障がい |
| ・自閉症スペクトラム障がい | ・シャーガス病 | ・非感染性疾患 |
| ・糖尿病 | | |